平成２６年度　政務活動費　先進都市調査報告書

会派名	市政創造
議員名	我妻静夫･岡田健一･山川明･山中正尚･古澤孝市･徳中嗣史･早川昇三
調査実施年月日	平成26年6月30日(月)
調査先　自治体名等	三重県　津市　商工観光部　工業振興課　企業誘致室
調査項目	1．工業振興の取り組みについて
調査目的	1．海外連携の取り組みについて 2．わくわく津市の工業体験の取り組みについて
報告内容 実施したこと	1　視察先(市町村)の概要 人口 ： 284,059 人(H26.4.1現在)　　行政面積 ： 710.81 k㎡ 2　視察内容 (1) 工業振興の取り組みについて ①　海外連携の取り組みについて ②　わくわく津市の工業体験の取り組みについて
感想（まとめ） 本市へ生かせること等	1．工業振興の取り組みについて 津市は、メカトロニクス産業が集積しており、機械(メカ)の運転･制御などにコンピューター(エレクトロニクス)を導入する事で、各種産業における一層の技術の高性能化や、自動化･省人化等の促進が期待されております。 津市では、こうした地域産業の特性を活かすために三重県や財団法人三重県産業支援センターと連携して、メカトロ関連産業を含めた工業振興事業に取り組んでおります。(主な事業･支援は、市内中小企業支援、ものづくり人材育成事業、海外連携事業、起業･創業支援事業、地域資源の活用等) ①海外連携の取り組みについて 津市では、地域経済の活性化のため、雇用の場の確保や財政収入の安定増加をはかり、持続可能な地域社会を生み出すために、内需依存だけではなく外需も獲得し海外企業との共同研究や共同開発など新たな事業展開ができる企業の育成･支援に取り組んでおります。平成24年には、フランス　パリの地域経済開発局間で、経済交流に関する協力協定を締結し、両地域の国際間における中小企業連携を支援し、メカトロニクスや医療･福祉機器関連、環境･エネルギーや航空宇宙産業等の分野において両地域の産業が持つ強みを活かしながら、継続的に経済交流を行っております。また、スイス　ジュネーブ州産業振興機構との間でも、経済交流に関する協力協定を締結し、定期的な情報交換や人的交流の実施を含め、主に中小企業のための新事業創出や技術交流、研究、共同開発を行うとともに、メカトロニクス産業やクリーンテックを中心とした産業振興、さらには産業投資や企業立地、学術分野の人事交流等も含めた両地域の協力関係を強化しております。 ②　わくわく津市の工業体験の取り組みについて 津市では、市内の企業が有する優れた技術を守り、将来にわたって産業が元気であり続けるために、次代の産業を担う優秀な人材の育成と確保が重要と考え、優れた技術の見学･体験、現場の技術者との交流等を通じて、子どもたちが「ものづくり」への興味･関心を高め、地域の産業に対する理解を深め、地域産業活性化の担い手のきっかけとなることを考え、平成19年度より小学5年生、6年生を対象とした工業体験ツアーを実施しています。 このような津市での取り組みは、室蘭市でも可能と思います。また、技術･技能の伝承についても重要な取り組みと思います。